

第三期長野市中心市街地活性化基本計画の策定にあたり、基本方針や目標、実施事業へ反映させるため、長野市中心市街地活性化プランのフォローアップを行いました。

（1）中心市街地の活性化に資する事業等の進捗状況

活性化プランでは、中心市街地の活性化に資する全39事業を位置付け、ハード・ソフト両面から事業を推進し、活性化に取り組んできました。

このうち、計画期間内に完了した事業が17事業、継続中が20事業、未着手が2事業となっています。

【目標】	【完了】	【継続中】	【未着手】
目標1 行きたくなるまち	3事業	4事業	－
目標2 住みたくなるまち	5事業	1事業	－
目標3 巡りたくなるまち	4事業	9事業	2事業
目標4 交わりたくなるまち	5事業	6事業	－
計（39事業）	17事業	20事業	2事業

◆事業の効果

ハード事業として、県立美術館のリニューアルに併せて「城山公園再整備事業（右図：NO7）」により、噴水広場を整備するとともに、「善光寺周辺地区街なみ環境整備事業（右図：NO5）」により、門前町の歴史的景観に配慮した道路整備を行うことで、エリア一帯の魅力と回遊性の向上が図られました。

また、「南石堂A-1地区優良建築物等整備事業（右図：NO11）」では、都市機能の更新とともに、まちなか居住の促進が図られ、併せて生活利便施設（食品スーパー）が整備されました。

このほか、「県庁緑町線沿線地区整備事業（右図：NO25）」とセントラルスクウェアの「まちなか広場整備事業（右図：NO24）」により、街路と公園が一体的に整備されたことで、新たな回遊動線と賑わいの拠点が形成されました。

これらハード事業に併せて「長野灯明まつり開催事業（右図：NO2）」や「集客イベント開催事業（右図：NO14）」など、ソフト事業を実施することにより、まちなかの賑わいや人々の交流機会が創出されました。

また、「空き店舗等活用事業（右図：NO15）」や「中心市街地遊休不動産活用事業（右図：NO12）」により、空き家や空き店舗など、遊休不動産の活用が促進されたことで、個性的な店舗が誕生するなど、まちの新たな魅力が創出されました。

このように、ハード・ソフト両面から、事業を推進することで、まちの魅力や回遊性の向上、人々の交流が促進され、中心市街地の活性化につながっています。

◆未着手事業の理由

「千歳町通りふれあいの道整備事業（右図：NO20）」については、歩行者優先道路化や道路の美装化などを実施する計画としていましたが、沿道の土地利用計画を踏まえ、道路の在り方について再検討が必要となったため、事業化に至らなかったものです。

また、「権堂地区にぎわい滞留空間整備事業（右図：NO26）」については、平面駐車場などの低未利用地の有効活用を目指し、人々の滞留空間を整備する計画としていましたが、事業予定地が民間事業者による有効活用が図られたため、事業化に至らなかったものです。

計画事業一覧

目標	NO	事業名	実施主体	事業進捗
行きたくなるまち	1	ぱていお大門運営事業	(株)まちづくり長野	継続中
	2	長野灯明まつり開催事業	長野灯明まつり実行委員会	継続中
	3	観光事業者育成塾事業	長野観光コンベンションビューロー	継続中
	4	善光寺表参道まち歩き事業	長野市ガイド協会	継続中
	5	善光寺周辺地区街なみ環境整備事業	長野市	完了
	6	長野駅東口バス待機場等整備事業	長野市	完了
	7	城山公園再整備事業	長野県・長野市	完了
住みたくなるまち	8	後町小学校跡地活用整備事業	長野県・長野市	完了
	9	まちなか居住体験事業	長野市	完了
	10	まちなか暮らし創造事業	長野まち暮らしネット	完了
	11	南石堂A－1地区優良建築物等整備事業	事業施行者	完了
	12	中心市街地遊休不動産活用事業	長野市・中心市街地活性化協議会	継続中
	13	長野駅周辺第二土地区画整理事業	長野市	完了
巡りたくなるまち	14	集客イベント等開催事業	各実行委員会・商店街団体	継続中
	15	空き店舗等活用事業	長野市・商店街団体・民間事業者	継続中
	16	共通駐車券事業	(株)まちづくり長野	継続中
	17	まちなか賑わい創出事業	長野市・商店街団体・民間事業者	継続中
	18	野外彫刻ながのミュージアム事業（まちなか編）	長野市	継続中
	19	市道長野西155号線整備事業	長野市	完了
	20	千歳町通りふれあいの道整備事業	長野市	未着手
	21	長野駅善光寺口顔づくり事業	長野市	完了
	22	中央通り歩行者優先道路化事業（Ⅱ期）	長野市	継続中
	23	市街地循環バス運行事業	長野市・民間事業者	継続中
	24	まちなか広場整備事業	長野市	完了
	25	県庁緑町線沿線地区整備事業	長野市	完了
	26	権堂地区にぎわい滞留空間整備事業	長野市・民間事業者	未着手
	27	善光寺門前オープンカフェ運営事業	長野市・(株)まちづくり長野	継続中
	28	権堂地区市街地整備事業	長野市・民間事業者	継続中
交わりたくなるまち	29	若者未来創造スペース整備事業	長野市・民間事業者	完了
	30	街角に芸術と音楽があるまちづくり事業	長野市	継続中
	31	長野市芸術館活用事業	長野市	継続中
	32	もんぜんぶら座運営事業	長野市・(株)まちづくり長野	継続中
	33	まちの見どころ再発見事業	まちづくりカフェ	完了
	34	もんぜんパートナーシップ事業	長野市・事業に賛同する団体	継続中
	35	善光寺表参道文化村事業	長野銀座地域まちづくり協議会	完了
	36	権堂地区市民交流施設整備事業	長野市	完了
	37	権堂イーストプラザ運営事業	長野市・(株)まちづくり長野	継続中
	38	もんぜんぶら座改修事業	長野市	完了
	39	生涯学習センター管理運営事業	長野市	継続中

①基本的な方針と目標及び目標指標

基本的な方針	目標	目標指標
まちなか観光の推進	目標1 行きたくなるまち	(指標1) 善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量 (人/日)
まちなか居住の促進	目標2 住みたくなるまち	(指標2) 総人口に対する中心市街地の人口比率 (%)
まちなか回遊の推進	目標3 巡りたくなるまち	(指標3-①) 中心市街地(6地点)の歩行者・自転車通行量 (人/日) (指標3-②) 中央通り及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗 (件)
まちなか交流の推進	目標4 交わりたくなるまち	(指標4) もんぜんぶら座及び生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民流センターの利用者数 (人/年)

②目標値の達成状況

・令和5年度に目標値を達成した指標は、指標3-②（中央通り及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗件数）のみとなりましたが、令和6年度は、指標1（善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量）も目標値を達成しました。

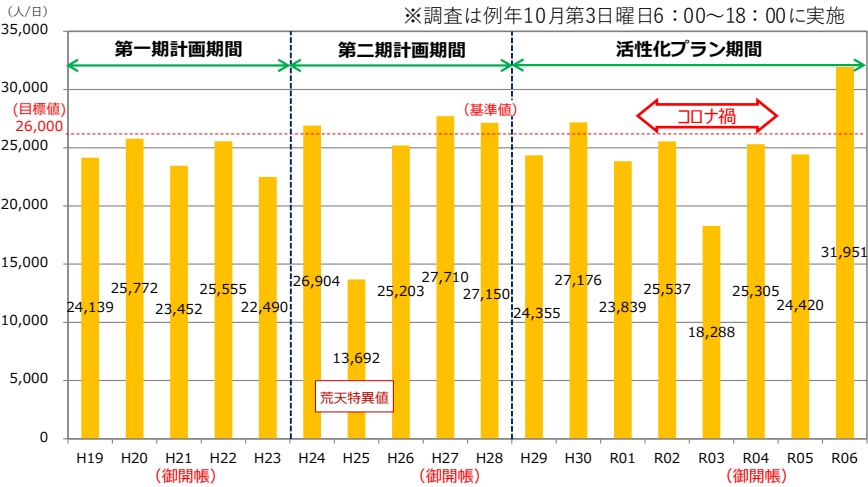
目標指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R07)	実績値 (R06)	達成状況 (R06)
指標1 (人/日)	27,150	26,000	31,951	達成
指標2 (%)	2.47	2.65	2.55	未達成
指標3-① (人/日)	112,504	108,000	101,449	未達成
指標3-② (件)	21	21	17	達成
指標4 (人/年)	560,735	550,000	343,406	未達成

指標4：もんぜんぶら座、生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民交流センターの利用者数 ※未達成

・目標指標4 もんぜんぶら座及び生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民交流センターの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年に大幅に減少し、令和3年以降は増加傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には回復していません。

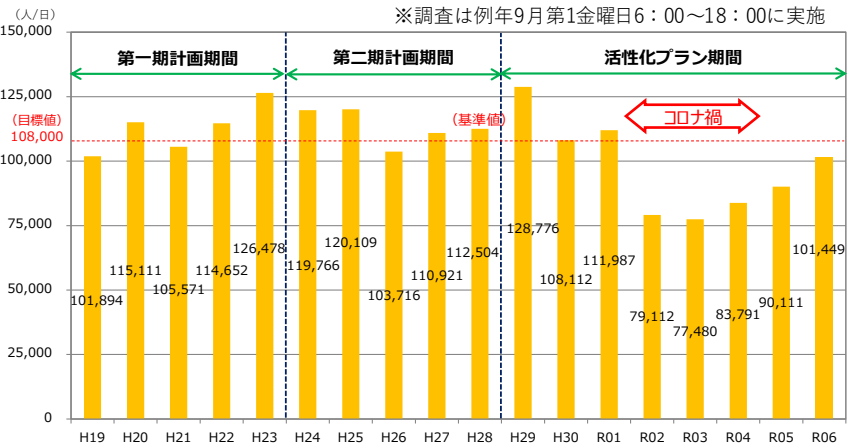
・コロナ禍以降の利用者数の状況を見ると、もんぜんぶら座と生涯学習センターは利用制限の解除により増加傾向にありますが、権堂イーストプラザ市民交流センターは令和2年以降ほぼ横ばいで、回復の兆しが見られません。利用者数が回復していない要因としては、コロナ禍以降オンラインツールの普及などにより、人々の行動の変容が考えられます。

指標1：善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量 ※達成



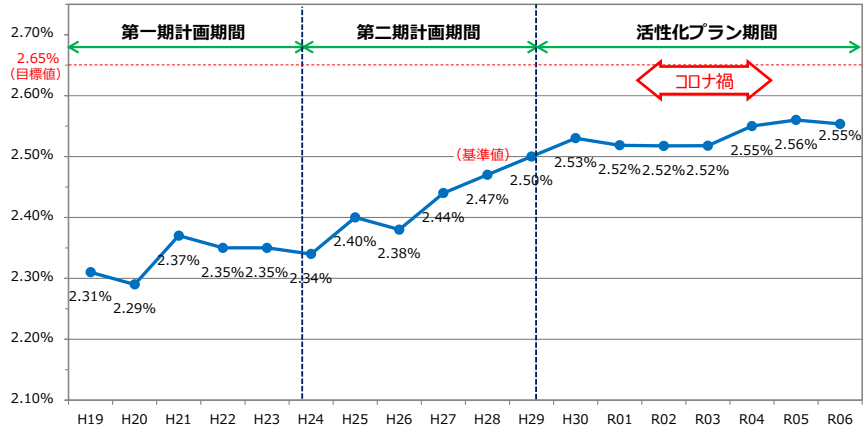
・善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量は、新型コロナウイルス感染症の拡大により減少したものの、令和4年以降は、インバウンド需要の増加などにより歩行者数が増加に転じ、令和6年度は目標値を達成しています。

指標3-①：中心市街地6地点の歩行者・自転車通行量 ※未達成



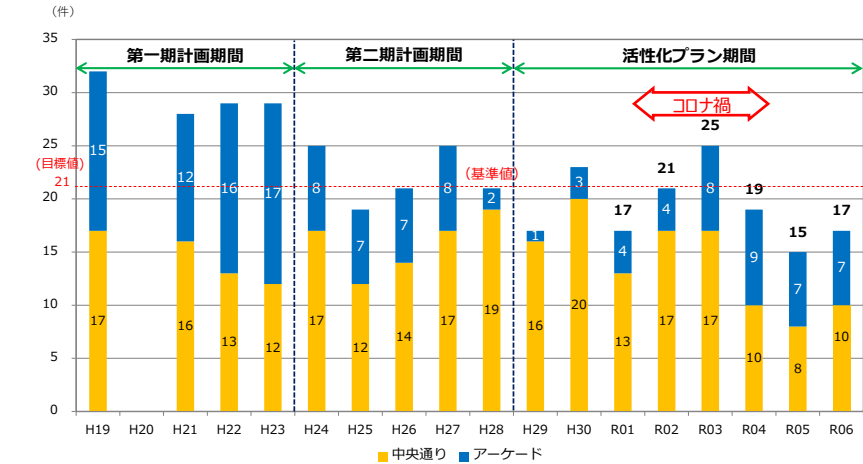
・中心市街地6地点の歩行者・自転車通行量は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年から令和3年にかけて大きく減少し、令和4年以降は、善光寺御開帳の開催もあり増加に転じているものの、コロナ禍前の水準には回復していません。これは、コロナ禍を経て、リモートワークの普及による通勤者の減少や、人々の生活様式の変化が要因と考えられます。

指標2：総人口に対する中心市街地の人口比率 ※未達成

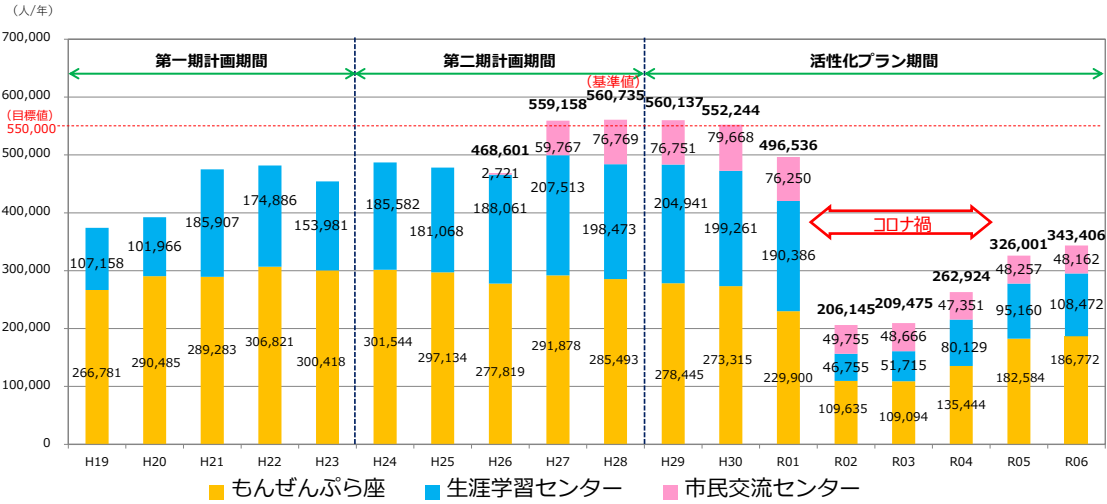


・総人口に対する中心市街地の人口比率が増加傾向にあるのは、市全体の人口が減少しているのに対し、中心市街地においてマンションが整備され、居住人口の減少が抑制されたことが要因と考えられます。

指標3-②：中央通り及び権堂アーケード沿い1階部分空き店舗件数 ※達成



・中央通り及び権堂アーケード沿い1階部分空き店舗件数は、新型コロナウイルス感染症の影響で増加しましたが、コロナ禍以降、行動制限が解除され、飲食店などの新規出店が相次いだことにより、減少傾向にあります。



概要

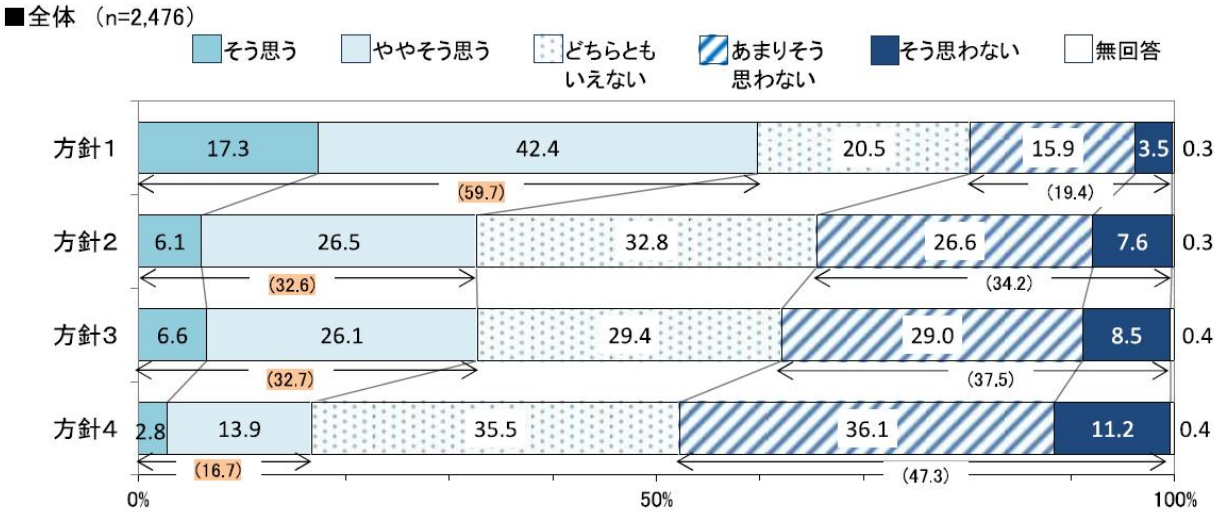
目的：市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、優先度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの
対象：市内に在住する満18歳以上の市民5,000人を対象（回答数2,476人：49.5%）
期間：令和6年9月11日（水）から10月22日（火）まで

◆市民の中心市街地に対する認識や市民ニーズを把握するため、中心市街地のまちづくりについて設問を設けました。

問 中心市街地の現状について、方針1～4それぞれにつき、あなたが感じる満足度を選んでください。

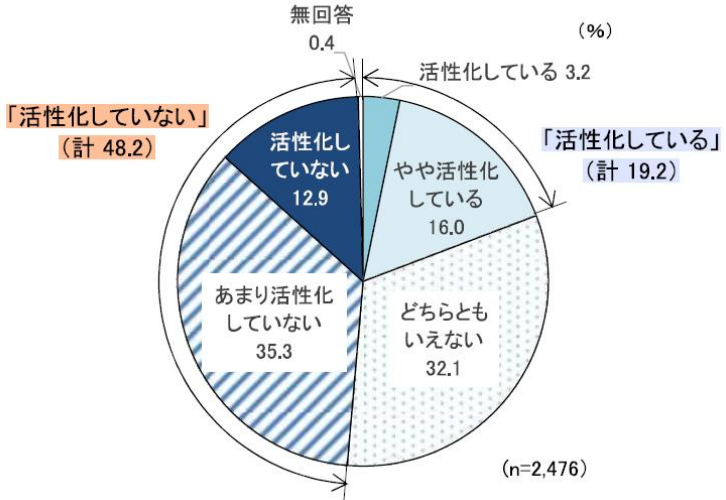
- 方針1 まちなか観光の推進（門前町としての歴史や文化が感じられるなど、行きたくなるまちである）
方針2 まちなか居住の推進（生活に必要な機能が充実し、良好な住環境が整っているなど、住みたくなるまちである）
方針3 まちなか回遊の推進（魅力的なお店や、公園などの居心地の良い空間があるなど、巡りたくなる（歩きたくなる）まちである）
方針4 まちなか交流の推進（幅広い世代の人々が集まる場所があるなど、交わりたくなる（交流したくなる）まちである）

「そう思う」と「ややそう思う」の合計が最も高かったのは「方針1 門前町としての歴史や文化が感じられるなど、行きたくなるまちである」の59.7%。次いで「方針3 魅力的なお店や、公園などの居心地の良い空間があるなど、巡りたくなる（歩きたくなる）まちである」が32.7%、「方針2 生活に必要な機能が充実し、良好な住環境が整っているなど、住みたくなるまちである」が32.6%で並ぶ。「方針4 幅広い世代の人々が集まる場所があるなど、交わりたくなる（交流したくなる）まちである」は16.7%だった。



問 あなたは、長野市の中心市街地は活性化していると思いますか。

中心市街地は活性化していると思うか聞いたところ「活性化している」は3.2%、「やや活性化している」は16.0%で合計19.2%。「あまり活性化していない」は35.3%、「活性化していない」は12.9%で合計48.2%。「活性化していない」が「活性化している」を29.0ポイント上回った。



問 中心市街地が活性化するためには、どのようなことに取り組みればよいと思いますか。次の中から、当てはまるものを、3つ以内で選んでください。

中心市街地が活性化するために取り組みればよいと思うことは、「魅力的な商業環境の充実」の44.1%が最多で、2番目は「利用しやすい駐車場の整備」の36.4%。3番目以降は「バスなどの公共交通機関の充実」が33.8%、「長野市らしさが感じられる街並みや景観の形成」が31.3%、「リノベーションなどによる空き家・空き店舗の活用」が23.4%と続く。

